

西郷富士

～ 学び 愛し 翔る 西郷小 ～

文責 校長 栗本あかね



パソコン・スマホ等でも、ご覧いただけます。

あけましておめでとうございます

1月8日（木）の朝、いつものように校門前で子供達を待っていました。子供達が歩いてくる姿を見つけ、3学期の始まりを実感しました。

「おはようございます。」に加え、「あけましておめでとうございます。」と新年の挨拶が上手な子もいて、ご家庭で挨拶の大切さをしっかりと伝えてくださっているのだと嬉しく思いました。



あいさつ＝自分らしさの表現の一つ

始業式では、挨拶について以下のような話をしました。

挨拶は自分らしさを出す表現の一つです。

はずむ声で明るく挨拶する人は、いろいろなことに明るく取り組む人だなあと感じます。

立ち止まって丁寧に頭を下げる人は、礼儀正しくて誰にでも優しいのだろうなあと感じます。

名前を呼んで「おはようございます。」という人は、一人一人を大切にできて誰にでも公平に接することができるのだろうなあと感じます。

門のところに一列に並んで挨拶をした登校班は、班長にリーダーシップがあって下級生にはフォロアーシップがありチームワークを大切にできるのだろうなあと感じます。

挨拶一つにあなたらしさが出るのです。だからこそ、挨拶を大切にしてほしいと思います。

今日のあなたの挨拶には、どんなあなたらしさが表現されましたか。

今年も友達のよいところを見つけて校長室に来てくださいね。1月は、特に挨拶が上手だった人を教えてくださいね。

加えて、子供達にあいさつ標語を募集し、金賞、銀賞、銅賞を獲得した作品は、玄関に掲示することを伝えました。

自分らしさとは何かを子供自身が考え、そこを伸ばしていけるように職員一同今年も最善を尽くしていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

西郷っ子らしさが見えた入場

始業式は、170人前後の子供達が講堂に入って行きます。それぞれの学級で並んでの入場です。

まずは6年生。2列になって話し声も足音もなく静かに入ってきました。所定の場所で整列し、静かに座ります。先頭で指示を出す先生の姿はありません。最後尾で子供達を見守っています。次に5年生。6年生同様、静かな入場。5年生も静かに座りました。そのあとに続く1～4年生も、静かに待つ5、6年生の姿が手本となり、静かに入場しました。さすが上級生！素晴らしいリーダーシップです。どの学年も先頭で先生が引率するのではなく最後尾から見守ります。日頃の先生方の指導が、子供達に行き届いていることが見えたこの姿は、本校の自慢です。